

令和 6 年度：iDA 健康保険組合事業概要

☆健康動画コンテンツ配信による健康意識の喚起

☆Fitbit 及びフォーミュラー食提供による ICT 保健指導の展開

☆アプリを活用した複合的な生活習慣改善イベントによる健康づくり

☆OTC 薬品購入の利便性向上による薬剤給付の抑制

☆健康リスクアセスメント事業の展開によるアンチエイジング

保険料率

一般保険料率 88.62/1,000

再掲 (特定保険料率 50.98/1,000)

調整保険料率 1.38/1,000

介護保険料率 18/1,000

- ・ 一般勘定収入支出予算額 20 億 3,762 万円
- ・ 被保険者一人当り保険料 265,256 円

iDA 健康保険組合の令和 6 年度予算が、承認されました。

一般勘定の総予算は、対前年比 3 億 1 千 146 万円増の 20 億 3,687 万円となり対前年比 18.05%増の予算規模になりました。

令和 6 年度の義務的負担である前期高齢者納付金は、対前年度比で 259,863 千円の増加となり、重い財政負担率となりました。

前期高齢者納付金を上げているのは、高齢者加入率が低い体制上、令和 4 年度の前期高齢者の一人当たり医療費の増加が見られたことと相俟って確定前期高齢者納付金額の調整等の乖離分負担が深く影響したものと考えられます。

さて、令和 6 年度予算は、傷病手当金及び出産手当金等の現金給付を除く医療給付費の一人当たり医療費は減少傾向にあり、加入員の健康度合は高まっています。

先に述べた拠出金が増加傾向を呈して参りましたが、今年度は第三期データヘルス作成年度にあたることから、加入員の皆さまの健康づくりと予防を重視する保健事業の充

実と効率性を図るものを提供します。

予算配分における保健事業費(所要財源率 5.11%)で、総額 98,039 千円となりました。

特定保健指導は、昨年に引き続き ICT を活用した保健指導に fitbit 或いはフォーミュラー食を選択できるものを提供し更なる保健指導率のアップを図ります。

厚労省から令和 4 年度に採択されたコンソーシアム事業の「アプリを活用した総合的な食習慣・運動習慣の改善と歩数管理」は、今年度も素敵なプレゼントがもらえるイベント展開しますので、多くの皆さまの参加をお願いします。

歯周病対策として、歯科医師による出張歯科健診を提供し歯と口の健康を推進します。

また、健康動画コンテンツの配信と前期高齢者リスクアセスメント事業を展開して健康意識向上に向けた啓蒙事業と生活改善を促すアンチエイジング事業も施行します。

財政状況は前年度末準備金保有率が 198.58%、年度末準備金保有率は 148.93%となりました。

続いて、介護勘定に目を転じますと、第 2 号被保険者数が対前年比で 300 人余り増の 2,380 人と増加していますが、令和 6 年度介護納付金が 176,021 千円と対前年比 71,751 千円の増となり、繰越金及び準備金繰入を計上するも介護勘定設定料率を 18%とします。

本年度末準備金保有率においては、179.92%と見込まれます。

今年度は従来の健康保険証が廃止され、マイナ保険証に生まれ変わる年となります。

効率的な医療制度の確立には重要な施策ですので、皆さまマイナ保険証の積極的な使用にご協力をお願いします。

併せて、健康保険組合の事業運営へのご理解をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

iDA 健康保険組合：常務理事 島田 弘幸